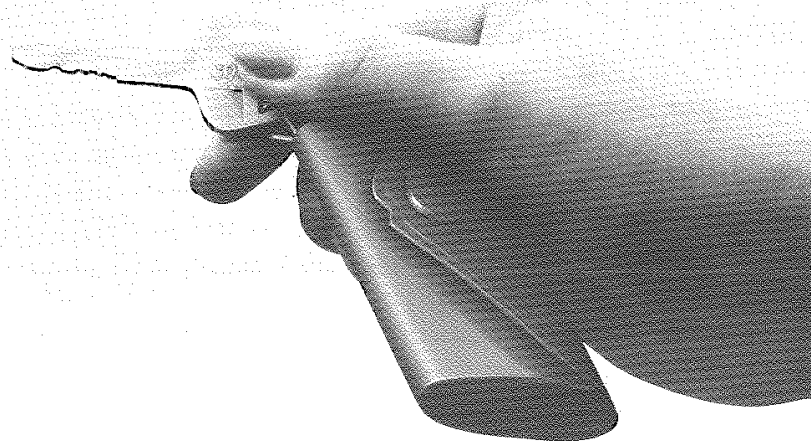


エンジンの始動

CORONA *MARK II 1700* HARDTOP / *1900* HARDTOP



キャブレターには、オートマチック・チョークがついています。エンジンが冷えているときには、自動的にチョークをして、エンジンの始動を容易にしております。

次の要領で、エンジンを始動してください。

1. パーキング・ブレーキをかけ、シフト・レバーをニュートラルにします。
2. アクセル・ペダルをいっぱい踏みこんで離すとオートマチック・チョークが働きます。アクセル・ペダルを踏みこむ回数は外気温によって次のように行なってください。

外 気 温	アクセル・ペダルの 踏む回数
+5℃以上	軽く1回
+5℃～-10℃	いっぱい1～2回
-10℃以下	いっぱい2～3回

3. クラッチ・ペダルは踏み込んだ状態
無断複製禁止

で、このときアクセル・ペダルを踏まないでエンジンをかけてください。

4. 始動後、暖機を十分行なってください。このとき、オートマチック・チョークが働いてアイドリング回転数がいくぶん高目となり暖機を助けております。

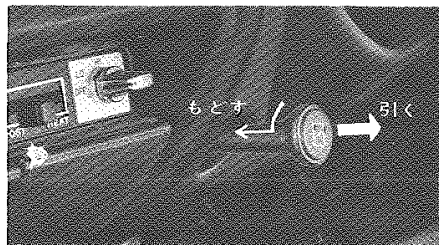
5. 暖機後、アクセル・ペダルを一度軽く踏んでください。これにより、オートマチック・チョークの働きがなくなり、正規の回転数にもどります。

《注意》

1. スターター・モーターは10秒以上使用しないでください。10秒以内で始動しない場合、30秒位休み、バッテリーの回復をまってから、再始動してください。

2. 外気温が低いときは始動後、エンジンの回転が円滑に持続しない場合がありますので、このときはアクセル・ペダルを踏んでエンジンが円滑に回転するようにしてください。

■〈SL車, GSL車〉



SL車にはチョーク・ボタンがついています。引っぱり出すとチョークができます。

気温が下がり、始動困難の場合に使用します。元にもどすときには、左に約90°まわして押しこみます。

気温の高いときは、チョーク・ボタンを引かずに、アクセル・ペダルを少し踏みながらエンジンをかけてください。

気温が下がり、始動困難な場合には次の要領で行なってください。

1. パーキング・ブレーキをかけ、シフト・レバーをニュートラル位置にします。
2. チョーク・ボタンをいっぱい引いてください。

3. 始動後、エンジンの回転数が2,500 r.p.m以上になったら、チョーク・ボタンを徐々にもどし、エンジンの回転数が2,000r.p.m程度になるように、チョーク・ボタンを調整して、充分暖気運転を行なってください。

4. エンジンが暖まり、チョークを使用しなくてもエンジンが円滑に回転するようになったら、チョーク・ボタンを元にもどしてください。

《注意》

1. スターター・モーターは10秒以上使用しないでください。10秒以内で始動しない場合は、30秒位休み、バッテリーの回復をまって、再始動してください。

2. 始動直後、エンジンの回転が円滑に持続しない場合は、アクセル・ペダルを踏みながら円滑に回転するようにしてください。